Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成28年8月26日国土交通省中部地方整備局港 湾 空 港 部名 古屋港湾事務所

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港時に官民学連携のおもてなしを実施 ~クルーズ船に"選ばれる港"を目指して~

近年、外航クルーズ船の日本への寄港が増加する中、名古屋港がクルーズ船の寄港地として "選ばれる港"となるためには、地域が一体となり、クルーズ船寄港時の港のにぎわい創出に取り 組むことが求められています。

中部地方整備局では、昨年度よりクルーズ船寄港時のにぎわい創出に取り組んでおり、これまで3回にわたり、地域の関係機関と連携し、クルーズ船の乗客や乗員に対するおもてなしなどを実施してきました。



賑わう物販の様子



市民によるお見送りの様子

今般、平成 28 年 8 月 23 日に、名古屋港金城ふ頭へクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港した際、地域の官民学が連携し、横断幕によるお出迎えや、観光案内、地元名産品の販売、市民団体による和太鼓のお見送りなど、様々な取り組みを行いました。

また、クルーズ船を見学に来た市民の方々にも楽しんでいただけるよう、椅子に座ってクルーズ船を眺めていただける休憩スペースの提供なども行いました。

クルーズ船の入出港時には、多くの市民がクルーズ船の見学に訪れ、市民と一緒に手や小旗を振るなどお出迎え・お見送りを行いました。クルーズ船の出港時には、見送る側と見送られる側が互いに声を掛け合うなど、別れを惜しむ姿が見受けられました。今後もクルーズ船の乗客や乗員の心に届くおもなてしに心がけ取り組みを行っていきます。

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、 港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

国十交诵省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

■問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 寺園(てらぞの)、西田(にしだ)

TEL:052-209-6323 FAX:052-203-9739

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課 三崎(みさき)

TEL:052-651-6763 FAX:052-652-0303

<取組実施概要>

〇日時・場所

平成 28 年 8 月 23 日(火) 名古屋港 金城ふ頭西側岸壁 「ダイヤモンド・プリンセス」(総トン数 115,875 トン、乗客定員 2,706 名) 9:00 入港 17:00 出港

〇取組内容 (【】内は実施主体)

- 入港歓迎伴走【名古屋港管理組合】
- 名古屋市消防局による歓迎放水【名古屋市消防局、名古屋港管理組合】
- 横断幕によるお出迎え【中部地方整備局】
- 観光案内【名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議】
- ・ WiFi 環境の提供【名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議】
- 地元名産品の販売【名古屋商工会議所会員企業10社】
- ・ 無料シャトルバス運行 岸壁⇔金城ふ頭駅【名古屋港管理組合:運行時間8時00分~17時15分】
- ・ クルーズ船見学者向けの休憩所、クルーズ観光等の情報提供ブースの設置 【中部地方整備局】
- 地域の大学生ボランティアによる乗員向けアテンド【株ツアーステーション、中部地方整備局】
- ・クルーズ船寄港に関するパンフレットの設置【名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議】 (配布先:名古屋臨海高速鉄道(株)、名古屋市営地下鉄、リニア鉄道館、名古屋市港区役所 名古屋観光コンベンションビューロー、イオンモール名古屋みなと店】
- 和太鼓によるお見送り【打歓人、名古屋港利用促進協議会】
- ・ 関連機関による SNS 等を活用した情報発信 【名古屋港管理組合、中部国際空港(株)、名古屋観光コンベンションビューロー】

く参考>

ダイヤモンド・プリンセスについて

総 トン 数: 115,875トン 全 長: 290m 乗客 定員: 2,706名 全 幅: 37.5m 就 航 年: 2004年 船 籍: 英国

船 主 : プリンセス・クルーズ(米)